

除雪ステーションに関する  
調査表記入マニュアル

## [E190] 除雪 S T 基本

この調査表は、除雪ステーションに関する基本的データを登録するためのものである。

### 1. 一般的注意事項

- (1) データは次の単位で作成する。
  - 路線毎とする。
  - 除雪ステーション箇所毎とする。
- (2) 除雪ステーションに関する設備内容等については「E191除雪 S T設備内容」にて作成する。
- (3) 除雪ステーションに関する写真・図面類については「E192除雪 S T図面類」にて作成する。

### 2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (H) 整理番号1
- (I) 整理番号2
- (J) 整理番号3
- (N) 補助番号

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(I)、(J)、(N)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

- (P) 名称

該当する除雪ステーション施設の名称を、10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカ

ナ、及び英数字) で記入する。名称がない場合は、設置箇所の地先名等を記入する。

(Q) 百米標 (km)

該当する区間の距離標 (百米標) を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(R) 距離 (m)

該当する区間の距離標 (百米標) からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(U) 施設完成年度

施設が完成した年度を記入する。(年は和暦を記入)

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(記入例) 昭和61年 ——>  $\begin{matrix} \underline{361} \\ \uparrow \\ \text{年号コード (3 : 昭和)} \end{matrix}$

(V) 施設改修年度

施設を改修した年度を記入する。(年は和暦を記入)

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル (共通編) , §1. 共通注意事項」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は「\*」を記入する。

(記入例) 平成5年 ——>  $\begin{matrix} \underline{405} \\ \uparrow \\ \text{年号コード (4 : 平成)} \end{matrix}$

(W) 完成年月

該当する除雪ステーションが完成した年月を記入する。(年は西暦年で記入。)

(記入例) 1983年 8月 ——> 198308

(X) 上り下り区分C

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
上下線共通	0
上 り 線	1
下 り 線	2

(Z) 所在地

該当する除雪ステーションの設置箇所の所在地 (字番地まで) について、30文字以内の日

本語で記入する。

(AA) 設置箇所C

除雪ステーションの設置箇所について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
地方整備局内	1 1
事務所内	1 2
出張所内	1 3
道路沿い	1 4
自動車等駐車場内	1 5
他の施設内	1 6
その他	9 9

(AC) 敷地区分C

除雪ステーションが設置されている敷地区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
国土交通省所有地	1
国有地	2
地方公共団体所有地	3
民有地	4
その他	9

(AE) 所有者名

除雪ステーションが設置されている敷地の所有者名を、15文字以内の日本語で記入する。

(AF) 敷地面積 (㎡) : ◆

除雪ステーションの敷地面積を記入する。

(AG) 有効面積 (㎡)

除雪ステーション内の有効面積として建物面積(設置面積)を省いた面積を記入する。

(AH) 建物面積 (㎡)

除雪ステーション内の建物面積(床のべ面積)を記入する。

(AI) 宿泊施設有無C

除雪ステーション内に宿泊施設が設けられているか否かについて、該当するコードを記入する。

区 分	コード
施設なし	0
施設あり	1

(AK) 宿泊施設面積 (m<sup>2</sup>)

除雪ステーション内に宿泊施設が設けられている場合は、宿泊施設の面積を記入する。

宿泊施設がない場合は‘\*’を記入する。

(AL) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(AM) 市区町村C : ◆

該当する区間の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード：08401  
(検査数字は含まない)

## 〔E191〕 除雪 S T 設備内容

この調査表は、除雪ステーションの設備内容等に関するデータを登録するためのものである。

### 1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「E190除雪S T基本」の作成単位毎とする。
- 設備内容（除雪に用いる機械類や材料）毎とする。

### 2. 記入事項

(1) 工事番号

(2) 工事区分C

(3) 施設対応番号

(C) 地整C

(D) 事務所C

(E) 出張所C

(F) 路線

(G) 現旧区分C

(G-1) 現旧区分

(H) 整理番号1

(I) 整理番号2

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 品名

除雪ステーション内の設備（除雪に用いる機械類や材料）の名称を、10文字以内の日本語で記入する。

(Q) 規格

上記の除雪ステーション内の設備に対する規格を、20文字以内のカタカナ、英数字で記入す

る。

(R) 単位

上記の除雪ステーション内の設備に対する単位を、3文字以内の日本語で記入する。

(S) 数量

上記の除雪ステーション内の設備に対する数量を記入する。

(T) 設置年月

上記の除雪ステーション内の設備が設置された年月を記入する。(年は西暦年で記入)

(記入例) 1985年10月 ——> 198510

(U) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

# 道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E190 : 除雪 S T (基本諸元)

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
名称	全角10文字			○
百米標	999.9	k m	○	○
距離	9999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦		○
完成年月	199901	西暦		○
上り下り区分C	半角1文字			○
所在地	全角30文字			○
設置箇所C	半角2文字			○
敷地区分C	半角1文字			○
所有者名	全角15文字			○
敷地面積	9999	m <sup>2</sup>	○	○
有効面積	9999	m <sup>2</sup>		○
建物面積	9999	m <sup>2</sup>		○
宿泊施設有無C	半角1文字			○
宿泊施設面積	9999	m <sup>2</sup>		○
備考	全角50文字			○
市区町村C	半角5文字		○	○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照



# 道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E191 : 除雪 S T (設備)

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字			○
整理番号2	半角4文字			○
品名	全角10文字			○
規格	文字40文字			○
単位	全角3文字			○
数量	999			○
設置年月	199901	西暦		○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照